

平成24年度

河合町教育委員会事務事業評価報告書

河合町教育委員会

教育総務課関係

一次評価 二次評価
(自己評価)

委員会の会議、規則等の規教育定改廃に関すること	A	A
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員会定例会開催 11回・規則改正 8件・規則制定 1件・条例制定 1件 ○ 委員研修並びに学校訪問等行事への出席 ・ 定例会開催により規則等の改廃を含め 64 件の議案が審議された。委員研修 2 回、学校訪問、入学（園）式、卒業（園）式、運動会、町民体育大会、成人式、文化祭等行事へ出席した。 		
児童生徒の就学、入学、転出入に関すること	A	A
<ul style="list-style-type: none"> ○ 就学前健康診断 11月 113名 ○ 転入・転出 転入 29件・転出 12件・転居 31件 区域外就学 20件・指定校変更 19件 ○ 要保護・準要保護・特別支援児童生徒就学援助費 小学校 2名・81名・11名 学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・給食費 5,617千円・361千円 中学校 3名・53名・5名 学用品費・通学用品費・校外活動費・修学旅行費・給食費 6,806千円・183千円 ○ 就学指導委員会開催 2回 ・ 経済的理由により就学困難と認める児童生徒に対し、必要な援助を行った。また、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため必要な経費について補助を行った。 心身等に障がいがある幼児・児童及び生徒の就学の適正化を図るため、実態や保護者の思いなどを勘案して、就学に関する方針を協議決定した。 		
学校の組織・学習及び生徒指導に関すること	A	A
<ul style="list-style-type: none"> ○ スクールカウンセラー ・ 生徒指導体制の充実 ○ 社会科副教材「わたしのふるさと河合町」 毎年3年児童配布 ○ 学校評議員の充実 → 委嘱 小学校 10名 中学校 11名 ○ 小学校外国語活動の充実 ・ 国際理解教育の推進（ALT派遣） ○ 読書活動の推進 ○ 早寝早起き朝ごはんの推進 ・ 生活、進路、不登校等のカウンセリング事業の充実を図った。 ALT派遣により外国語のさらなる充実を図った。 読書活動の推進により、授業への集中力が高まり学力の向上が図られた。 		
施設設備の整備に関すること	B	B

- 耐震補強
 - 第二小学校校舎棟①⑧
 - 実施設計・監理業務 (株)都市企画設計コンサルタント
13,483千円
 - 補強工事 (株)村本建設 173,077千円
 - 第二中学校校舎棟①
 - 実施設計・監理業務 (株)都市企画設計コンサルタント
6,552千円
 - 補強工事 (株)村本建設 63,439千円
- 耐震二次診断
 - 第一中学校校舎棟②
 - 診断業務 (株)岩崎建築設計事務所
1,106千円
 - 第二中学校体育館
 - 診断業務 (株)都市企画設計コンサルタント
2,594千円
- その他一般営繕関係 4,553千円
- 備品購入並びに図書費 3,502千円

- ・ 国の補正予算を利用し学校施設の耐震補強工事や耐震診断を行った。
未実施の施設についても年次計画を基に実施を行う。

児童生徒・教職員保健事業に関すること	A	A
○ 学校医・歯科医・薬剤師 各1名 事業費 1,565千円		
○ 児童生徒健康診断（結核・心電図・尿・ぎょう虫）		
○ 教職員健康診断（胃がん・結核・心電図・聴力・血液・尿検査）		
○ （財）日本体育学校健康センター保健事業		

- ・ 学校保健安全法、結核予防法に基づく検診等を行い教職員、児童、生徒の健康管理の徹底を図り、良好な教育環境の保全に努めた。

学校給食に関すること	A	A
○ 給食調理員研修実施 年4回		
○ 抜き打ち食材検査実施 年1回		
6食材 農薬検査（冷凍インゲン）・一般生菌類（冷凍むきえび） カンピロバクター（鶏肉）・サルモネラ（卵） O-157（ミンチ肉）・大腸菌群（もやし）		
○ 学校給食献立会議 月1回		

- ・ 調理員の研修、食材等の衛生管理、献立会議の実施など学校給食の充実は図られた。給食運営については、栄養バランスのとれた献立で魅力ある内容とし、地元の食材も一部使用した。また、季節感を子ども達に感じてもらうため、旬の食材も取り入れたメニューを作り子供たちに食に対する関心を持たせた。また、食物アレルギーに対しては、代替食等で適切な対応も行っている。

社会教育関係

一次評価 二次評価
(自己評価)

社会教育施設の管理運営	B	B
-------------	---	---

- 公民館の管理運営⇒建物清掃委託：2,173 千円、浄化槽・排水管清掃委託：373 千円、各種点検管理委託：1,344 千円
年間利用者数 44,140 人

建設後 30 年以上の経過により老朽化は著しいが、利用者に不快感を与えないよう利用者の方の協力も得て清掃等を心がけています。また、節電節水についても利用者に呼びかけ協力を頂き施設管理を行いました。

社会教育の振興	B	B
---------	---	---

- 社会教育委員会議⇒2 回開催：経費 192 千円
- 社会教育関係団体の活動支援⇒郷土を学ぶ会、子ども会連合会、ガールスカウト、PTA 連合会、人権教育推進協議会、人権教育研究会、婦人会、盆栽会、文化協会、体育協会、おはなし会：経費 4,961 千円

活動支援として、各団体に補助金を交付。各団体は、目的に合った公益的性格のある事業等を実施し、町の行事にも協力していただいている。

従前から活動助成的補助として各団体定額の補助金を交付している。今後は、公正な補助金の執行をするための基準を制定する必要がある。

青少年の健全育成	B	B
----------	---	---

- 青少年健全育成連絡会⇒2 回開催
夏休み夜間巡回 4 回、各小・中学校挨拶運動（9 月）、有害図書等立入巡回啓発指導
- 「子ども 110 番の家」の旗配布⇒協力家屋 461 家庭：経費 0 千円
- かわい寺子屋教室（6 回）⇒参加者 38 名：経費 330 千円
- 親と子の体験教室（6 回）⇒参加者 28 名（13 組）：経費 272 千円
- ふるさと河合絵画コンクール⇒出品数 167 点（11 月 6 日～18 日：公民館で展示）：経費 16 千円

PTA を中心に挨拶運動、「子ども 110 番の家」の旗設置、登下校の見守りなどにより、子どもたちの安全が守られている。

かわい寺子屋教室、親と子の体験教室は、参加人数も多く世代間交流、生活体験、自然体験、ものづくり、家族のふれあう機会、他の家族との交流などにより、子どもたちの社会性、自主性、創造性等の豊かな人間性を育まれる環境づくりを推進しています。

生涯学習機会の提供	B	B
-----------	---	---

- 町民大学
 - ・ 公民館文化講座（7～14 回）⇒受講生 258 名【古文書、はじめてのヨガ、整

理収納わざ、茶の湯寺子屋、ネイルアート、実用篆刻、アレンジメントフラワー、ハワイアンフラ、着付、陶芸、料理、社交ダンス、男の料理、写真、大正琴、古典、子ども絵画】：経費 1,172 千円

- ・ 生涯学習セミナー（8回）⇒受講生 53名：経費 30 千円
- ・ 歴史セミナー（8回）⇒受講生 57名：経費 8 千円
- ・ 遺跡学セミナー（8回）⇒受講生 13名
- ・ パソコン講座⇒6コース開催：受講生 86名：経費 2918 千円

町民大学を設立して9年。講座、セミナーの内容については、運営委員会と協議を行い老若男女が参加できるものを開講。講座により、人気のある講座との参加格差は少しあるが、講座については募集人数の88%が受講され、住民のニーズに応えられた生涯学習が提供されている。

セミナーについては、募集人数の79%の受講で少し低い。講演中心となるため参加意欲が少ないと思われる。募集人員を含め、講演のみだけでなく楽しく参画できる内容等を検討したいと考えます。

人権教育の推進	B	B
---------	---	---

○ 啓発活動推進事業

- ・ 第24回「人権を確かめあう日」県内一斉集会への参加（上牧町）、なら・ヒューマンフェスティバルへの参加（御所市）：経費 1420 千円
- ・ 人権電話相談：経費 360 千円

○ 差別をなくす町民集会（7月14日）⇒創作劇「ひまわり」：参加者 290名：経費 196 千円

○ 人権教育推進協議会⇒総会、事務局会の開催、研修会への参加
 県人権教育推進協議会研究大会（参加者 5名）、県人権教育推進協議会ブロック別研修会（参加者 8名）、人権と部落問題講演会（参加者 17名）、郡人権教育推進協議会研究大会（参加者 34名）：経費 415 千円

○ 現地人権学習会（3回）⇒「洞泉寺町の川本邸」（大和郡山市）参加者 53名：経費 30 千円

○ 人権学習講座（4回）⇒参加者 92名：経費 270 千円

○ 識字学級⇒週1回（2時間）受講生 4名：経費 125 千円

町民集会、現地人権学習は、例年通りの参加人数はありましたが、講座については少ない参加ではあるが、専門的な分野の講演内容であり充実した講座であった。

人権にかかわる教育や啓発については、どれだけの成果と効果があったのか、数値で表すことは難しく、また、こうした活動を数値に置き換えて判断すべきものであるのかとも思います。

住民への人権意識を高めるには継続することが何よりも大切であると思います。

文化財の保存に関すること	A	A
--------------	---	---

○ 史跡大塚山古墳群買上事業⇒大塚山古墳の買収：1, 159㎡：経費 23,188 千円

○ 文化財展 13 ⇒文化財展示室の公開

○ 史跡ナガレ山古墳の維持管理⇒管理委託：1,456 千円

- 「文化財防火週間」実施事業⇒文化財防火訓練（廣瀬神社）：参加者13名（神社関係者、消防団）
- 砂かけ祭りサポート⇒町指定無形民俗文化財である「砂かけ祭り」のPRと運営支援：経費522千円

文化財保存整備は、史跡大塚山古墳群保存管理計画に基づき、大塚山古墳の一部を買収した。

史跡の維持管理は、町内外からの見学者の方々に史跡の形状を見ていただくため、職員により年4～5回の草刈を実施。ただし、ナガレ山古墳は、奈良県馬見丘陵公園との一体的な維持管理が望ましいため、日常的な清掃・維持管理は奈良県、除草・植栽管理は河合町シルバー人材センターに業務委託した。

文化財の情報発信、PRは、文化祭に合わせての展示室の公開、公民館ロビーにて展示品の一部（資料、埴輪等）を1年を通して展示、また河合町指定無形民俗文化財である民俗学的にも重要な「廣瀬神社の砂かけ祭り」の保存継承を図るため、祭事実行のための支援を行い、町文化財の魅力を県内外に発信するとともに町の観光力の向上と活性化を図った。

主催事業、式典	B	B
<ul style="list-style-type: none"> ○ 成人式⇒記念演奏（中学生による吹奏楽）、記念写真撮影：出席者131名 出席率76%）：費用263千円 新成人企画イベント（ビデオレター、スライドショー） ○ 文化祭（文化協会と共催）⇒作品出展27グループ、舞台発表17グループ ：費用1,050千円 		

文化会館まほろばホール管理運営	C	C
<ul style="list-style-type: none"> ○ 若々しい創造力にあふれたまちづくりを進めるため、地域社会の活力と文化を生み出すための場として平成4年からオープン致しました。大ホール・小ホール・研修室があり、小ホール・研修室は年間を通じて利用されています。しかし、施設の老朽化が進み計画的な補修が必要である。 年間利用者数24,506人 		

図書館	B	B
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生涯学習施設の一つとして、広く「本との出会い、人との出会い」を大切に、住民の様々なニーズに応え、地域ボランティアとの連携した事業の推進、また色んな情報提供の拠点として、子供からお年寄りまで、気軽に立ち寄っていただけるような図書館を目指している。事業として定例お話し会（年間44回）人形劇（年1回）を開催して子供と本の結びつきを高めている。 累計登録人数21,035人 貸出人数19,975人 貸出冊数64,489冊 		

評価の基準 A：満 足
B：ほぼ満足
C：要改善

意見

教育総務課の各事業は児童生徒の就学事務、施設設備の管理等、業務全般にわたり取組は概ね良好です。町内幼稚園、各小・中学校の自己評価では「河合町教育振興基本計画」に基づき、家庭・地域と連携し信頼関係を深めながら、子どもたちに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に努め、学校教育の重点課題の達成度も概ね良好な評価になっています。また、「心の教育」の充実を目指し、体験活動や言語活動を重視した教育実践がされています。

社会教育に関わっては子どもから高齢者、各種団体、個人を対象として様々な情報発信に努め、また事業内容の充実にも努めています。今後も青少年、成人、高齢者のライフステージに応じた学びの機会の企画、人権教育等の今日的な課題に向けての学習機会の充実、公民館等の社会教育施設を拠点とした文化活動の推進、豊かな自然・歴史・文化遺産の保存や活用に向けた地域文化の活性化の取り組みをさらに推進されることを期待しています。

河合町教育委員会
指導主事 西井正美